

編 集 後 記

エアコンが不可欠な寝苦しい夜が続いていましたが、やっと朝夕過ごしやすくなり、虫の音が聞こえてくるようになりました。

今回の総説では“*Helicobacter pylori* 感染と胃がん”という題で、消化器内科の加藤先生より報告がなされています。菌の発見から、その後の基礎および臨床研究の歴史が詳述されており、*H. pylori* 研究に携わってこられた専門医ならではの内容と思われます。新しい知見により疾患の予防や治療が従来と劇的に変わることはしばしばあることですが、胃がんにおいても今後同様のことが起こるかもしれないと思われました。

また2005年の手術をはじめとする統計等、学会発表、および論文がまとめられ、当院の臨床および研究における一年を振り返ることができます。当院の特徴として、全疾患に対する腫瘍の割合がいずれの科でも高いことが、改めて示されています。院内集談会のテーマはクリニカルパスでした。医療行為はバリエーションが多く、必ずしもすべての分野で応用できませんが、バリエーションが少ない分野では、クリニカルパスを導入することで、効率化、省力化等がはかれるとともに、医療行為自体の見直しができると思われます。
(内山 記)

医誌編集委員 (50音順)

内 山 徹	加 藤 俊 幸	北 村 康 男
竹之内 辰 也	張 高 明	中 川 悟
難 波 克 彦	丸 山 洋 一	
	事務局 有 田 由美子	

平成18年9月25日印刷

平成18年9月30日発行

県立がんセンター新潟病院医誌

第45巻第2号 (通し98号)

〒951-8566 新潟市川岸町2丁目15番地3
編 集 県立がんセンター新潟病院
医誌編集委員会
電話 025-266-5111(番代)
発 行 県立がんセンター新潟病院 田中乙雄

〒950-8724 新潟市和合町2丁目4番18号
印刷所 株式会社 第一印刷所
電話 025-285-7161
